

各 位

2026年5月7日

株式会社グリーンハウスフーズ

グリーンハウスフーズ、外食・中食業界における 先進的な食育活動が評価され「食育実践優良法人 2026」に認定

株式会社グリーンハウスフーズ（東京都新宿区 代表取締役社長：田沼千秋）は、農林水産省が創設した「食育実践優良法人顕彰制度」において、従業員への食育活動を積極的に実践している企業として「食育実践優良法人 2026」に認定されました。

本認定は、「とんかつ新宿さぼてん」をはじめとするレストラン・デリカ事業を展開する企業として当社グループが進めてきた「食」を通じた従業員の健康支援が、業界において先進的な取り組みとして評価されたものです。

今回、株式会社グリーンハウス（東京都新宿区 代表取締役社長：田沼千秋）も同様に認定されています。



2026 食育実践優良法人

「食育実践優良法人」は、食育の推進に積極的かつ継続的に取り組み、社会的意義の高い活動を行っている法人を認定する制度であり、企業における「大人の食育」を後押しすることを目的としています。

■グリーンハウスグループの食育・健康経営に取り組む背景

グリーンハウスグループは2016年4月、「社員の健康増進により、いきいきと活躍できる職場の実現と、生産性向上で業績改善を実現する」とした健康企業宣言を制定しました。

さらに2018年2月には、「グリーンハウスグループ働き方改革企業宣言（ウェルネスプログラム）」を策定し、管理栄養士の高い専門性を生かしたダイエットプログラムや健康セミナーなど、従業員の健康づくりを支援する各種施策を社内外に展開しています。

■実施した主な取り組み

今回の「食育実践優良法人 2026」への申請にあたり、以下の取り組みを実施しました。

- ・ 自社グループ開発の AI 食事管理アプリ『あすけん』を活用した食事記録・栄養管理のサポート
- ・ 上記アプリを使用し、食事や運動の記録を元にしたチーム対抗レースの実施
- ・ 社内の管理栄養士による健康情報の定期配信
- ・ 特定保健指導プログラムを活用したダイエットプログラムの展開

これらの取り組みを通じ、従業員一人ひとりが自身の食生活を見直し、主体的に健康づくりに取り組める環境を整備してきました。

グリーンハウスグループは今後も「食」を通じて人々の健康と豊かな生活を支える“食を通じた健康貢献企業”として、食育のさらなる充実と社会的価値の創出を実践していきます。

■食育実践優良法人顕彰制度について

食の外部化や簡便化志向、若者における野菜類・果実類の摂取減少など、大人の食生活の乱れが顕在化している中、これからの社会を担う若手をはじめとする「大人の食育」の推進が求められています。本制度は、自社の従業員に対し、健康的な食事の提供等、食生活の改善に向けた取組とその評価を行っている企業を顕彰し、もって企業内の活力向上及び優良な取組の横展開を図ることを目的に実施するものです。

「大人の食育」を推進するために 2025 年 6 月に農林水産省が創設した「官民連携食育プラットフォーム」が認定を行っています。

※参考：農林水産省 プレスリリース（2026 年 4 月 1 日付）

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/hyoji/260401.html>

本件に関するお問い合わせ先

株式会社グリーンハウスフーズ

広報室 担当：山根 TEL:03-3379-1249 e-mail: yamanemisa@greenhouse.co.jp

〒163-1477 東京都新宿区西新宿 3-20-2 東京オペラシティタワー17F (<https://www.ghf.co.jp/>)